

こどもログハウスの設置目的と運営方針について

1 こどもログハウスの設置目的

こどもログハウスは、遊びを通してこども達の健全育成を助長し、放課後等にこども達の居場所を提供すると共に、また中高生等のボランティア活動を提供する施設として、社会に向かう青少年の育成も視野に設置されています。

- (1) 以前のこども達は、身近な野山の自然の中で日が暮れるまで走り回って遊びの中から学び育って来ました。勉強は大事ですが遊ぶことも大切です。一人で遊ぶテレビゲームだけでなく、友達同士が集まってワイワイ遊ぶのも楽しいものです。
- (2) ログハウスは、こども達が身近なところで木の温もりを感じながら自由に集い遊ぶことにより、こども同士の遊びを通して、屋外や家庭・学校では体験できない創造力や表現力、さらには連帯感を育む屋内公園施設です。
- (3) ログハウスは、こどもの“遊びの王国”です。主人公はこども達です。スタッフはこども達が明るく元気に遊び育っていくのを見守って行きます。

2 こどもログハウス運営上の基本方針

- (1) こども達が、気軽に自由に遊び、集える環境を提供します。
- (2) こども達の行動は非常に活発です。館内及び周辺では「安全・安心第一」を基本とします。
- (3) こども達が遊びのコミュニケーションを通じて、こども社会での仲間作りやルールを守ることを身につけます。
- (4) 社会や家庭環境が変化していく中で、日本の良き伝統・文化・風習等が家庭ではできない又は無くなって行く傾向にあります。正月あそびや節句、十五夜などの行事を自主事業として実施します。
- (5) 午前中の比較的利用の少ない時間帯に、子育てママが子供達と触れ合えるイベントを実施します。また、これらの取組を通じて将来の利用につなげます。
- (6) スタッフは、遊びながら成長していくこども達を見守り、サポートします。
- (7) スタッフは、利用者サービスの向上と運営の効率化・経費の節減に努めます。そのために「施設の管理」に加え「サービスの提供者」としての意識を高めていきます。
- (8) 地域ニーズや利用者ニーズを運営に反映するため、運営委員会や利用者アンケートを活用します。また、ボランティア活動等への場の提供など地域活動との連携を推進します。